

金沢工業大学(石川県野々市市)が全国から募ったSDGs(持続可能な開発目標)イノベーション教育拠点校で、玉野高が最優秀に選ばれた。ある課題を解決しようと

すると別の課題が生まれる「トレードオフ」を意識しながら、生徒が自主的に探究・研究活動に励んだことが評価された。

(松山定道)

## 金沢工業大のSDGsイノベーション教育 玉野高が最優秀拠点校



「第4回ジャパンSDGsユースサミット」にオンライン参加する平松さん(手前左)ら代表生徒

ゲーム「X」を授業に導く「飢餓をゼロに」を目指す。ゲーム形式でさまざまな問題の解決策を考えることにより、SDGsが掲げる17の目標を個々に達成しようとするだけでなく、誰一人取り残さない「ために」による競技術モデルロケットは「トレードオフ」の解決が鍵であることに理解を深め露した。

6日に全国の拠点校など、3年平松英展さん(18)は、ビデオ会議システムで結んで開かれた「第4回ジャパンSDGsユースサミット」にオンライン参加する平松さん(手前左)ら代表生徒

小麦栽培実験リーダーの

3年平松英展さん(18)は、食糧増産に伴う肥料過多が環境汚染を引き起こすと

「トレードオフ」の解決が鍵であることに理解を深め露した。

6日に全国の拠点校など、3年平松英展さん(18)は、ビデオ会議システムで結んで開かれた「第4回ジャパンSDGsユースサミット」にオンライン参加する平松さん(手前左)ら代表生徒



肥料の量を変えて栽培したパン用小麦「ゆめちから」を収穫する生徒(玉野高提供)

### 小麦栽培

自主的な研究評価

て、肥料の量を変えた栽培実と感じた。レジリエントで、窒素肥料を標準の75%(強靱)な農業をつくりあげてたと発表。平松さんは「カ、同高で3年目となるロケットドゲームを通じて、SDGsのゴールは大きいようで実は身近なところから始められる」と話した。

小麦栽培

て、肥料の量を変えた栽培実と感じた。レジリエントで、窒素肥料を標準の75%(強靱)な農業をつくりあげてたと発表。平松さんは「カ、同高で3年目となるロケットドゲームを通じて、SDGsのゴールは大きいようで実は身近なところから始められる」と話した。

肥料の量を変えて栽培したパン用小麦「ゆめちから」を収穫する生徒(玉野高提供)

小麦栽培

て、肥料の量を変えた栽培実と感じた。レジリエントで、窒素肥料を標準の75%(強靱)な農業をつくりあげてたと発表。平松さんは「カ、同高で3年目となるロケットドゲームを通じて、SDGsのゴールは大きいようで実は身近なところから始められる」と話した。

### モデルロケット開



た。

文部科学省の事業に採択された同大の「ゲーミフィケーション」を用いたSDGs教材活用のための教員向け人材育成の一環で、同大が小中学校と学習塾計10校を拠点校に指定。教材や助言を提供した。